



福島区地域 防災計画

令和4年3月
福島区役所

はじめに

近年、非常に高い確率で発生すると予測されている南海トラフ巨大地震については、大阪市の死者数が約12万人となる大きな被害が想定されていますが、迅速な避難を行うことができれば約8千人に軽減されると考えられています。

また、阪神・淡路大震災や東日本大震災での課題と教訓を踏まえ、自分（家族）の命は自分（家族）で守る『自助』や、地域や近所で助け合う『共助』、そして行政機関による『公助』の取り組みをこれまで以上に進めることが重要となっています。

更には、地震だけではなく、福島区は北側に淀川、南側には堂島川・安治川が流れており、近年多発する豪雨や大型台風の接近により、河川の氾濫や高潮による浸水被害など、水害にも備える必要があります。

福島区役所としては、大規模災害において人命や財産を守るためには、「公助」として行うべきことに着実に取り組んでまいりますので、区民や事業者の方々におかれましても、「自助・共助」による積極的な取組が必要不可欠です。自然災害はいつ起こるか分からないため防ぐことはできませんが、一人一人が備えることで減災することができます。

今回改訂しました「福島区地域防災計画」は、来るべき大災害に備えるために、区役所の役割と区民のみなさまの役割を明確にし、今備えるべき事項を重点的に策定しました。

この防災計画が、みなさまの日頃の災害に対する備えや取り組みの一助となれば幸いです。

令和4年3月

福島区役所

目 次

第1章 基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1~P7

第1節 概要

第2節 福島区の被害想定について

1. 地震による被害
2. 津波の浸水予測
3. 水害による被害

第3節 警戒レベルによる避難情報の発信

第2章 平時の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8~P14

第1節 災害リスクへの対応

第2節 災害時即応体制の確立

第3節 通信機器等の確保

第4節 避難行動

第5節 避難所における管理運営体制の確立

第6節 避難行動要支援者の把握と支援ボランティアの体制整備

第3章 災害時の行動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15~P20

第1節 地震発生時の初期行動1

第2節 地震発生時の初期行動2

第3節 水害発生時の避難に対して

第4節 あらゆる災害発生時の避難に対して

第5節 災害時の行動フロー図

第1章 基本的な考え方

第1節 概要

南海トラフにおいて発生し、津波を含む甚大な被害が想定されている巨大地震や、近年激甚化する台風等による風水害が懸念される中、東日本大震災や大阪府北部地震などをはじめ、平成30年の台風21号や令和元年の台風19号の被災経験から、「自助・共助」による住民同士の助け合いの重要性がますます高まっています。

福島区に及ぼされる被害の規模等を改めて認識するとともに、こうした災害に備えて、「自助・共助・公助」の3つの視点を基本に、最低限必要なものに限定して、平時と災害時に分けて明らかにします。

第2節 福島区の被害想定について

福島区では、地震や水害による被害として以下のように被害想定が出されています。

とくに水害は、福島区のほぼ全域が浸水しますので、区民の皆さんは確認の上、災害時に適切な避難行動をとっていただきますようお願いします。

1. 地震による被害

(1) 大阪市域の地震による被害想定

	内陸活断層による地震	海溝型の地震	
	上町断層帯地震	東南海・南海地震	南海トラフ巨大地震
マグニチュード	7.5～7.8	7.9～8.6	9.0～9.1
震度	5強～7	5弱～6弱	5強～6弱
建物被害 (全壊+半壊)	約27.7万棟	約2.6万棟	約29.6万棟
死者数	約8,500人	～100人	約12万人

(出典：大阪市危機管理室)



(2) 福島区の地震による被害想定

●上町断層帯地震、東南海・南海地震（平成 18 年度想定）

	基礎データ		建物被害※			人的被害
	建物棟数 (棟)	人口 (人)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	死者数 (人)
上町断層	12,909	60,019	2,496	2,722	5,218	49
東南海・南海	12,909	60,019	629	1,163	1,792	6

(出典：大阪市危機管理室)

※ 建物被害小学校区別内訳

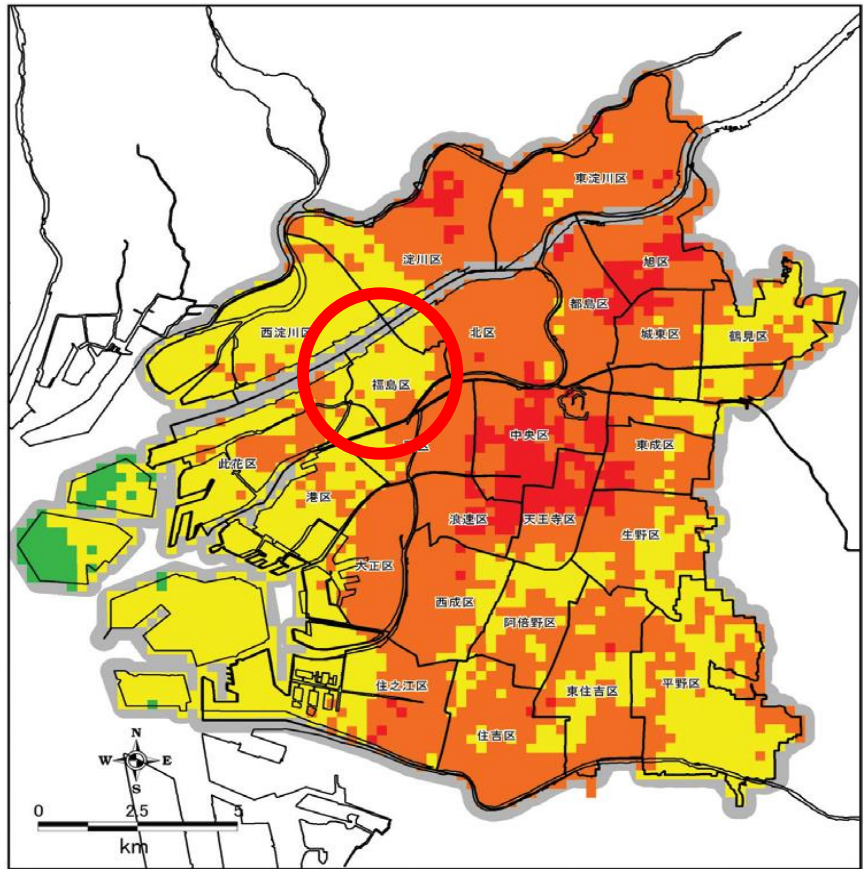
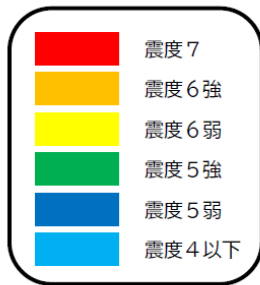
	建物被害				建物被害		
	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全半壊棟数 (棟)		全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全半壊棟数 (棟)
旧福島小校区				鷺洲小校区			
上町断層	230	254	484	上町断層	201	252	453
東南海・南海	41	81	122	東南海・南海	63	117	180
玉川小校区				海老江東小校区			
上町断層	213	208	421	上町断層	156	208	364
東南海・南海	51	95	146	東南海・南海	70	124	194
野田小校区				海老江西小校区			
上町断層	587	506	1093	上町断層	234	286	520
東南海・南海	92	173	265	東南海・南海	80	145	225
吉野小校区				旧上福島小校区			
上町断層	506	530	1036	上町断層	168	198	366
東南海・南海	131	236	367	東南海・南海	30	60	90
大開小校区							
上町断層	201	281	482				
東南海・南海	71	131	202				

●南海トラフ巨大地震（平成 25 年度想定）

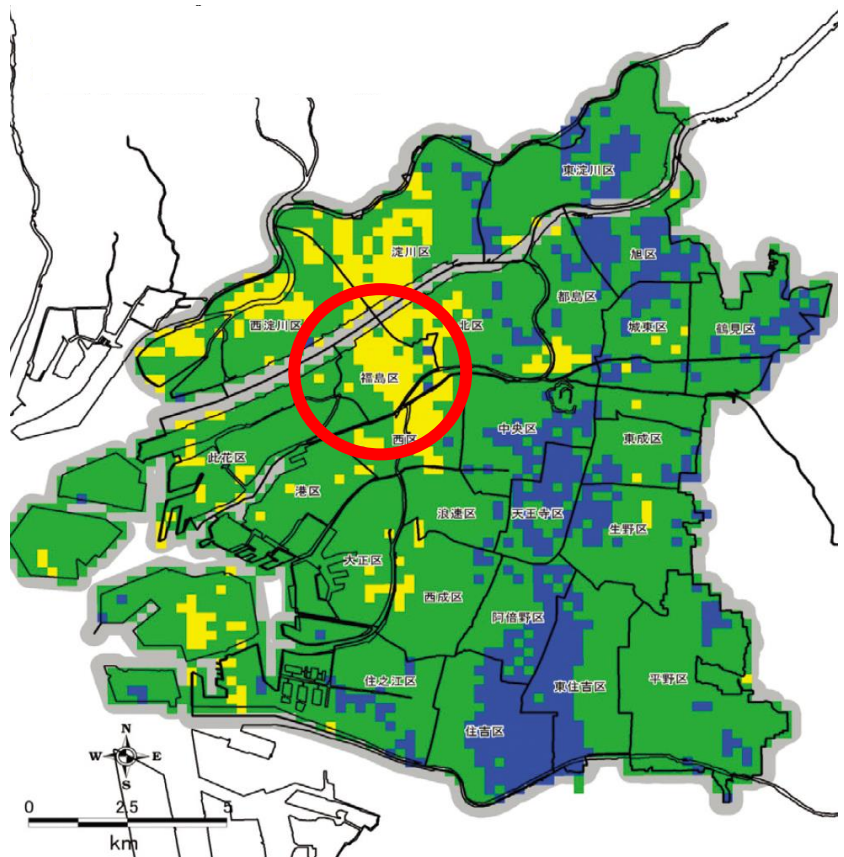
基礎データ		建物被害			人的被害					
建物棟数 (棟)	人口 (人)	全壊棟数 (棟)	半壊棟数 (棟)	全半壊棟数 (棟)	死者数(人) ※早期避難率低			死者数(人) ※避難迅速化		
					揺れ火災	津波	堤防沈下に 伴う浸水	揺れ火災	津波	堤防沈下に 伴う浸水
13,392	67,290	4,444	12,323	16,767	8	8,404	187	8	0	2

(出典：大阪市危機管理室)

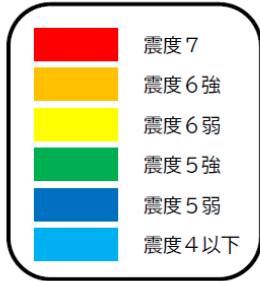
上町断層帯地震 の震度想定



南海・東南海地震 の震度想定

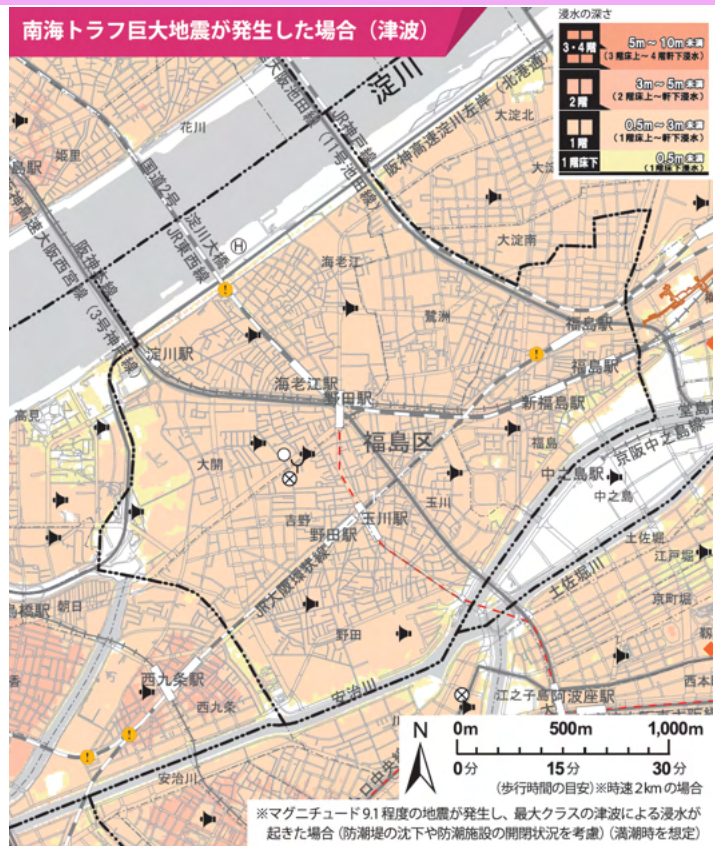


南海トラフ巨大地震の震度想定



2. 津波の浸水予測

南海トラフ巨大地震が発生すれば、地震発生後に大規模な津波を伴うことが予想されます。福島区では、地震発生後の約2時間後に3メートルの津波が来るといわれています。

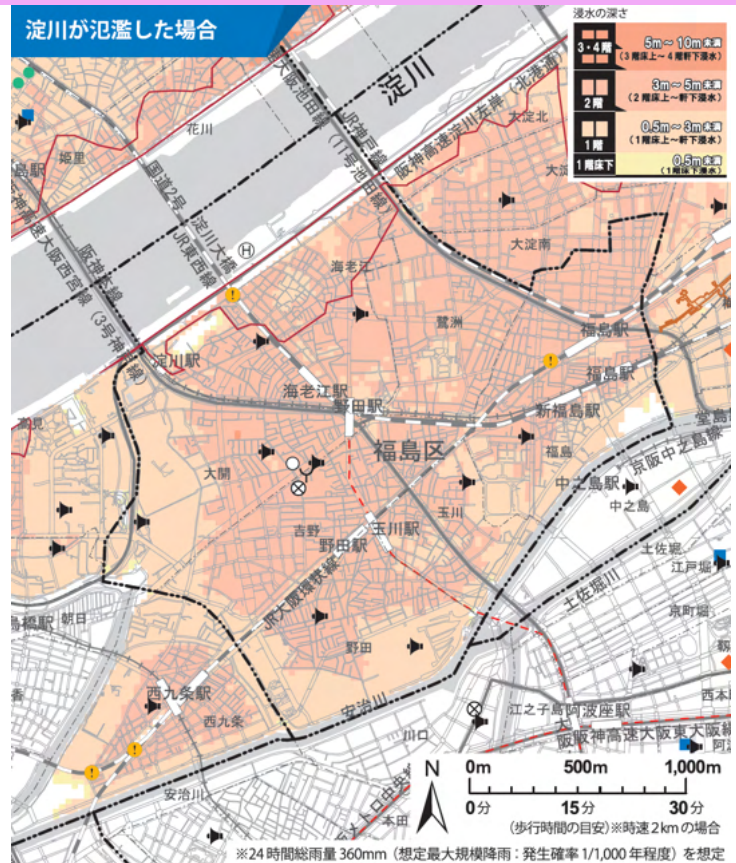


(出典：「水害ハザードマップ（福島区）」大阪市危機管理室作成)

3. 水害による被害

(1) 河川氾濫

長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水があふれ出したりして区内が浸水します。福島区では淀川が氾濫した場合の浸水が想定されています。

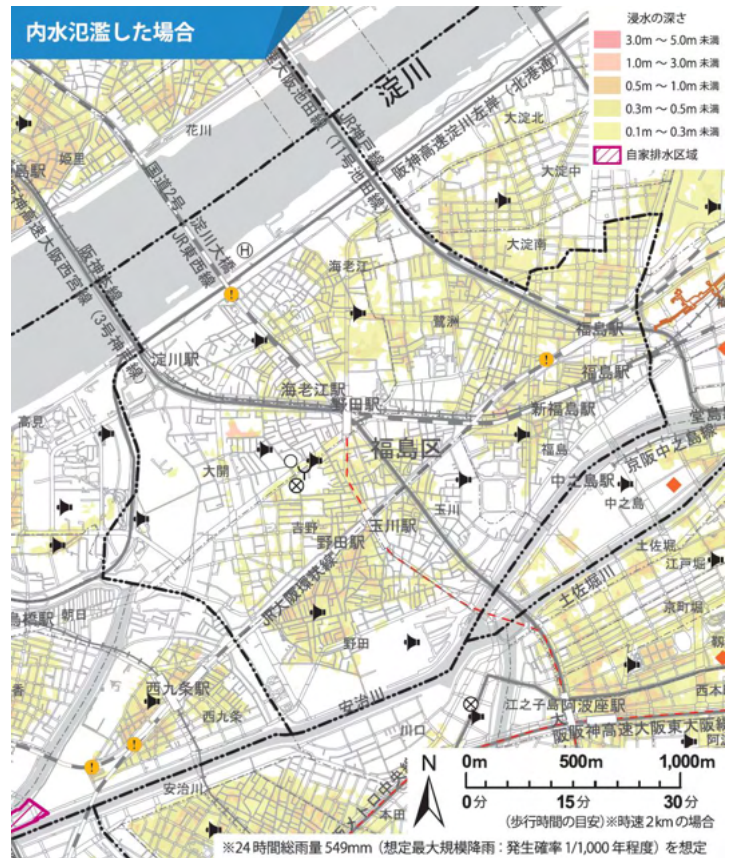


(出典：「水害ハザードマップ（福島区）」大阪市危機管理室作成)

(2) 内水氾濫

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水ができなくなったりすると、雨水があふれ、住宅地や道路などが冠水します。

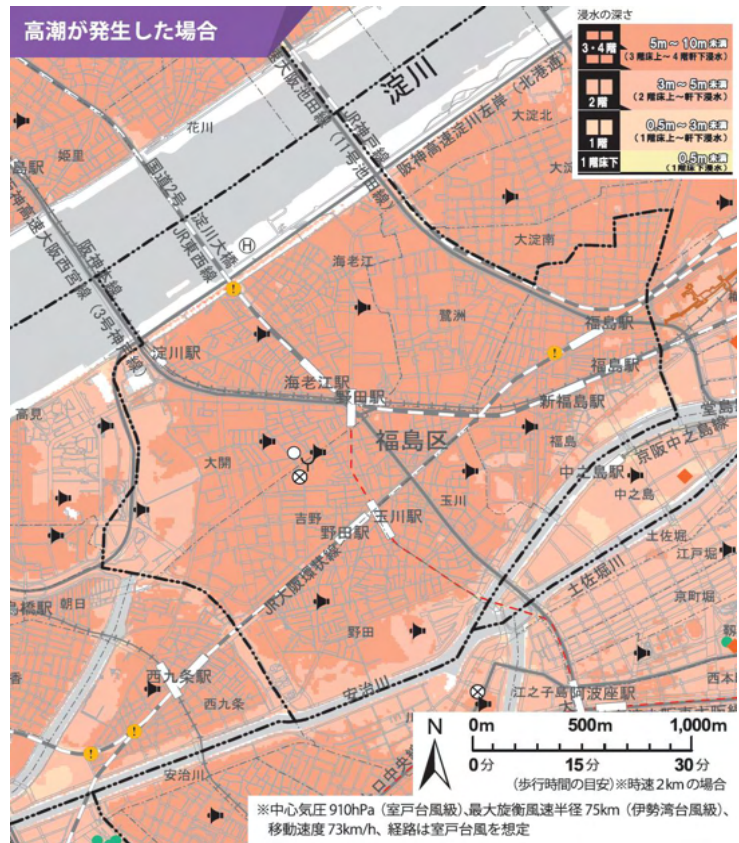
これまで浸水がなかった地域についても想定を超える豪雨など、雨の降り方や地盤の高低によっては浸水が発生するおそれがありますので、大雨には十分な注意が必要です。



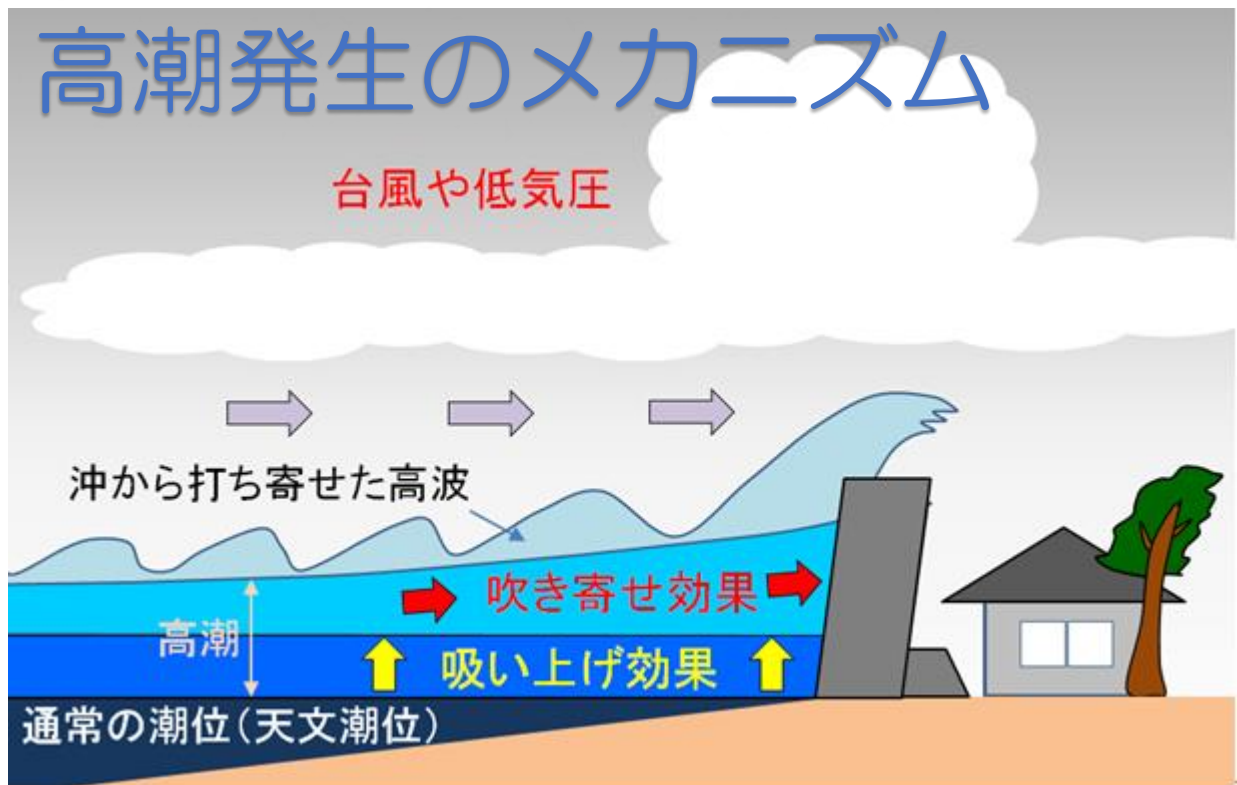
(出典：「水害ハザードマップ（福島区）」大阪市危機管理室作成)

(3) 高潮が発生した場合

平成 30 年の台風 21 号では、淀川大橋にありす鉄扉を閉鎖したことで高潮による浸水を防ぐことができました。今後も大型台風などの影響により、高潮による浸水が想定されます。



(出典：「水害ハザードマップ（福島区）」大阪市危機管理室作成)



(出典：気象庁)

第3節 警戒レベルによる避難情報の発信

水害について、市町村が出す避難情報と
 国や都道府県が出す防災気象情報が**5段階**に整理されました。
 これを受けて、大阪市では、今後次のとおり避難情報を発令します。

警戒レベル	避難行動等	〈防災気象情報〉 【警戒レベル相当情報(例)】 国土交通省、気象庁、都道府県 が発表
警戒レベル 5 大阪市が発令 (おおさかしがはつれい)	緊急安全確保 既に災害が発生している又は、切迫している状況。命の危険があるため、 直ちに身の安全を確保 する。	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル 4	危険な場所から全員避難!! 速やかに避難*する。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、 近くの安全な場所 や 自宅内のより安全な場所 に避難する。	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 等
警戒レベル 3	危険な場所から高齢者等避難! 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難する。その他の人も必要に応じ、危険を感じたら自主的に避難する。	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 大雨・洪水警報 等
警戒レベル 2 気象庁が発表 (きしょうちやうがはつぱい)	避難行動の確認 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認する。	これらの情報は、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。 ※ただし、「警戒レベル相当情報」が発表されたとしても必ずしも同じタイミングで市町村から同じレベルの避難情報が発令されるとは限りません。 避難行動をとる際は、市町村からの避難情報にご注意ください。
警戒レベル 1	心構えを高める 災害への心構えを高める。	

※ 避難先は、公的な避難場所に限りません。近くの家族や親戚、知人宅への避難についても日頃から相談しておいてください。
 大阪市からは、次のような内容で、避難行動を呼びかけます／

警戒レベル 4
伝達文例

- ◆ 「緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、全員避難。」×2回
- ◆ こちらは大阪市です。
- ◆ ○○川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- ◆ 速やかに全員避難してください。
- ◆ 指定された避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所や、屋内の高いところに避難してください。
- ◆ 詳しくは、NHKデータ放送やおおさか防災ネットなどをご確認ください。